## 自己評価票

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	<ul><li>○印</li><li>(取組んでいき たい項目)</li></ul>	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I.	理念に基づく運営			
		1. 理念と共有		
	○地域密着型サービスとしての理念			
1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独 自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を盛り込んだ理念を掲 げてサービス提供している。		
	○理念の共有と日々の取り組み			
2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	基本理念を、職員室、食堂ホール、玄関に掲示。 朝、声に出して読み実施している。ミーティング の機会には、話し合い理解し、共有化を図ってい る。		
	○家族や地域への理念の浸透			
3	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には、地域との関わりの大切さを話し、理解 してもらえるよう取り組んでいる。併設の施設等 には、ホーム便りを配布している。		
2. :	・ 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声 をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえ るような日常的なつきあいができるよう努 めている。事業所は地域の一員として参加 と、老人会、行事等、地域活動に参加 し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしにいる。またたいか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	隣近所の人と気軽に声を掛け合ったり、日常的な付き合いが出来るよう努めている。地域の文化祭への作品出品等参加したり、近郊にある保育園への訪問、近所の商店へ散歩を兼ねての買い物、地元のまつりにも参加したり、地元の人々と交流の機会がもてるよう努めている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	<ul><li>○印</li><li>(取組んでいき たい項目)</li></ul>	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3.	<b>里念を実践するための制度の理解と活用</b>			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全員 で自己評価に取り組むようにしている。外部評価 の結果を踏まえ、改善計画を作成し、サービスの 質の向上に努めている。		
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	2ヶ月に1回の推進会議を実施し、現在取り組んでいる内容についての報告を行い、行政からの情報収集をしながら利用者へのサービス向上に活かしている。		
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、運営や 現場の実情等を積極的に伝える機会を作 り、考え方や運営の実態を共有しながら、 直面している運営やサービスの課題解決に 向けて協議し、市町村とともにサービスの 質の向上に取り組んでいる	ホームの実態等を理解してもらうために、自己評 価や外部評価の結果を提出し報告を行っている。		
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人に はそれらを活用できるよう支援している	外部研修への参加や内部研修の実施等を通じて、 全職員が権利擁護事業や成年後見制度について理 解を深め取り組みを行っている。		
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	勉強会やミーティング等を実施し、虐待が無いように注意し、防止に努めている。日々のケアの提供場面を観察する等、虐待を未然に防ぐよう努めている。		

		T. 10 (47 v	○卸	
	項  目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理	<b>記念を実践するための体制</b>			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者 や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説 明を行い理解・納得を図っている	契約時は、利用者やご家族に理解等ケアの方針や取り組みについて説明し、疑問や意見を引き出す働きかけを行い、同意を得ている。退居時は十分に説明を行い、同意を得ている。不安を生じさせないように、退居先の情報提供を行う等の支援を行っている。		
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の言葉や態度から、その思いを察する努力 をし、利用者本位の運営を心掛けている。利用者 の不安や意見等については、その都度話し合いを 行っている。		
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族には、面会時、計画表の説明等、その都度報告し、救急時やいつもとかわったことがあった時は、随時電話連絡している。		
13		ご家族には、何でも言ってもらえるような雰囲気 づくりに留意している。出された意見や要望等 は、ミーティングで話し合っている。		
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の 意見や提案を聞く機会を設け、反映させて いる	運営に関する職員の意見や提案は、月1回の定例 会議であげ、随時運営者や管理者へ提出してい る。		
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員 を確保するための話し合いや勤務の調整に 努めてい	利用者の自由な暮らしが、出来る限り支えられよ うに、利用者の状態やペースに合わせたローテー ション組んでいる。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		利用者、ご家族への信頼関係を築くためにも、顔 馴染みの職員によるケアを心掛けている。新しい 職員が入る場合も、きちんと紹介し利用者から ホームのことを教えてもらうような工夫をしてい る。		
5. J	 、材の育成と支援			
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて 育成するための計画をたて、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	事業所内外で開催される研修には、多くの職員が 受講できるようにしている。伝達研修の機会とし て、法人の報告会やホーム内の定例会議時に報告 を行っている。		
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者 と交流する機会を持ち、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取り組みを している	研究会や研修会に参加したときに同業者と交流を 持ち活動や取り組みを聞いたりし情報収集してい る。		
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽 減するための良好な工夫や環境づくりに取 り組んでいる	職員相互に親睦を深める機会を設けており、気分 転換を図っている。		
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心を 持って働けるように努めている	職員の勤務状況や実績は把握しており、各自がそれぞれ向上心を持って働いている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	<ul><li>○印</li><li>(取組んでいき たい項目)</li></ul>	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
II .5	安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. ‡	目談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
21		事前面談で、生活状況を把握し、本人の求めていることや不安を理解できるよう努めている。本人の思いに向き合い、職員が本人に受け入れられるような関係づくりに努めている。			
22		早急な対応が必要な相談者には、可能な限りな対 応を行い、他の事業所のサービスに繋げるなどの 対応に努めている。			
23		本人やご家族に、事業所を見学してもらうことから始めている。安心し納得した上でサービスを利用するために、ご家族等と話し合いながら馴染めるようなサービスの工夫をしている。			
2. 🛊	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共 にし、本人から学んだり、支えあう関係を 築いている	利用者は、人生の先輩であるという考えを職員が 共有しており、普段から教えてもらえる場面を多 くもてるように、工夫や声掛けに配慮している。			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	<ul><li>○印</li><li>(取組んでいき たい項目)</li></ul>	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に おかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を 支えていく関係を築いている	利用者の様子や職員の思いをきめ細かく伝えることで、本人を支えていくための協力関係を築けることが多くなっている。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に 努め、より良い関係が築いていけるように 支援している	ご家族、本人の思いや状況を見極めながら、外出 や外泊で家族と一緒に過ごすことを勧めたり、行 事に家族を誘ったりしながら、より良い関係の継 続に努めている。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	知人や友人に会いに行ったり、電話や手紙での連絡を取り持ち継続的な交流が出来るよう働きかけている。		
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとり が孤立せずに利用者同士が関わり合い、支 え合えるように努めている	利用者同士の関係性について情報連携し、全ての 職員が共有できるようにしている。心身状態や気 分、感情で日々変化することもあるので、注意深 く見守るようにしている。		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても、引き続き関係を断ち 切ることはなく相談にのったりと、付き合いは大 切にしている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	<ul><li>○印</li><li>(取組んでいき たい項目)</li></ul>	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)		
Ш.	Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1	一人ひとりの把握					
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意 向の把握に努めている。困難な場合は、本 人本位に検討している	日々の関わりの中で、利用者の視点に立って意向 等の把握に努めている。意思疎通が困難な方に は、ご家族や関係者より情報を得るようにしてい る。				
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用の 経過等の把握に努めている	利用者の生活歴等について、ご家族から情報収集 を行っている。本人のためのケアに活かすという 目的と、プライバシーへの配慮を忘れないように している。				
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人ひとりの生活・心理面の視点や出来ないことより出来ることに注目し、その人全体の把握に努めている。				
2. 7	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作	成と見直し				
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要な関 係者と話し合い、それぞれの意見やアイ ディアを反映した介護計画を作成している	職員の意見や気付きを職員間で十分に話し合い、 必要に応じてはご家族や関係者からの意見や気付 きも反映させた介護計画を作成している。				
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	職員が情報を確認し、ご家族や本人の要望を取り入れ介護計画の実施期間を明示している。状態が変化した際には、終了する前であっても検討見直しを行っている。				

		- to the state	0旬	
	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	○個別の記録と実践への反映	介護計画の見直し時に活かせるよう、計画に基づ		
35	日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	いた記録を行っている。その他に、日々の暮らしの様子や身体状況等について、具体的に記録している。		
3. §	・ 多機能性を活かした柔軟な支援			
	○事業所の多機能性を活かした支援			
36	本人や家族の状況、その時々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	本人、ご家族の状況に応じて、通院への付き添い や機能訓練の為の買い物やドライブ等の同行送迎 する等柔軟な対応を行っている。		
4. 7	・ 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との	協働		
	○地域資源との協働			
37	本人の意向や必要性に応じて、民生委員 やボランティア、警察、消防、文化・教育 機関等と協力しながら支援している	本人と地域との様々な接点を見出し、周辺施設への働きかけやボランティアへの協力を呼びかけている。		
	○他のサービスの活用支援			
38	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて、事業所以外のケアマネージャー等 との連携を図っている。		
_	○地域包括支援センターとの協働	地域包括支援センターがおこなった、キャラバ		
39	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護 や総合的かつ長期的なケアマネジメント等 について、地域包括支援センターと協働し ている	ン・メイト養成研修に参加している。これからも本人の意向や必要に応じて、地域包括支援センターと協働していきたい。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を 築きながら、適切な医療を受けられるよう に支援している	本人やご家族が希望するかかりつけ医となっている。定期的な受診のほか、体調変化や心配事のある時などには、いつでも医療機関に気軽に相談することが出来る。		
41	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築 きながら、職員が相談したり、利用者が認 知症に関する診断や治療を受けられるよう 支援している	認知症の専門医、あるいは認知症の人の医療に熱心で、利用者一人ひとりに応じた指示や助言をしてくださる医師を確保している。		
42	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域 の看護職と気軽に相談しながら、日常の健 康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理 や状態変化に応じた支援を行えるようにしてい る。併設施設との連携もある。		
43	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせる よう、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談に 努めている。あるいは、そうした場合に備 えて連携している	入院時には、本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、職員が見舞うようにしている。 退院時は、本人、ご家族の希望を受け入れ、対応可能な支援に結び付けている。		
44	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方につい て、できるだけ早い段階から本人や家族等 ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合 い、全員で方針を共有している	日常的な健康管理や急変時の対応について、利用 者やご家族等、医療機関と話し合いを行い、意思 統一を図っている。		
45	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く 暮らせるために、事業所の「できること・ できないこと」を見極め、かかりつけ医と ともにチームとしての支援に取り組んでい る。あるいは、今後の変化に備えて検討や 準備を行っている	重度化や終末期には対応していない。	0	重度化や終末期には対応していないが、日々の暮らしの中で状況の変化を見逃さずに、重度化する前に早期発見・早期治療に努めている。

		T	1		
	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	○住み替え時の協働によるダメージの防止				
	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	新しい住まいでも、これまでの暮らしの継続性が そなわれないように、生活環境・支援の内容など 注意が必要な点について情報提供し、きめ細かい 連携を心掛けている。			
IV.	その人らしい暮らしを続けるための日々のま	₹援			
1. ₹	この人らしい暮らしの支援				
(1)	一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底	が田本の一手とせて」といって中にマンない。ナ			
47	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	利用者の言動を拒否したり、否定していない。声掛けや対応について、事業所全体で日々の確認や改善に向けた取り組みを行っている。プライバシーに配慮して、業務を行っている。			
	○利用者の希望の表出や自己決定の支援	日,6月11日在今岁中长栋),20年11日,11日,3年			
48	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の関わりやご家族等からの情報により、希望 や関心、嗜好等について把握している。利用者の 力量に応じて、自己決定を促す場面や選んでもら う場面作りを行っている。			
	○日々のその人らしい暮らし				
49	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	利用者のペースやその日の希望、身体・精神状況 に合わせた支援を行っている。			
(2)	(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
	○身だしなみやおしゃれの支援	* # * * * * * * * * * * * * * * * * * *			
50	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	着替えは、本人の意向で決めており、職員は見守りや支援が必要な時に手伝うようにしている。希望に応じて、馴染みの理・美容院に出掛けられるように支援している。			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	<ul><li>○印</li><li>(取組んでいき たい項目)</li></ul>	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、希望や好み、苦手なもの等、配慮されている。利用者の状況や意思等に応じて、調理の準備や後片付けを促し、職員と一緒に行っている。選択メニューや出前をとったり工夫し、楽しく食事をしていただいている。		
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の状態に配慮しながら、嗜好品を暮らしの 中に取り入れている。		
53	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活 かして気持ちよく排泄できるよう支援して いる	失禁時の対応は、利用者の羞恥心やプライバシー に配慮し、他利用者が気づかないよう速やかに 行っている。		
		入浴を拒否する方には、声掛け対応等の工夫を、 行っている。利用者の習慣等に配慮しながらも、 浸かりすぎや洗身等に対して、適切な支援を行っ ている。		
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況 に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努めている。一人ひとりの体調や表情、希望等を配慮して、ゆっくり休息がとれるように支援している。		
(3)-	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活	の支援		
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした 役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や希望、力量等を把握している。 一人ひとりにあった役割や楽しみごとを促す働き かけを行っている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	ご家族の協力を得て、少額のお金を持っている人 もいる。買い物時には支払いを行ってもらう等の 支援も行っている。			
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	天気、本人の気分や希望に応じて、季節を肌で感じてもらい、心身の活性に繋がるように、日常的に散歩、買い物に出掛けている。			
59	<ul><li>○普段行けない場所への外出支援</li><li>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</li></ul>	遠くの場所への外出については、予め計画を立 て、職員の勤務を調整するなどしながら行ってい る。ご家族の協力が得られている。			
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をした り、手紙のやり取りができるように支援を している	利用者に来る電話や手紙を歓迎している。電話を かけたりする場合には、その利用を支援してい る。			
61		面会時間は、ご家族の都合に応じた柔軟な対応を 行っている。ご家族等の訪問時には、声掛けを行 なうなど過ぎしやすい雰囲気作りを行っている。			
(4)	(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	運営者及び職員は、身体拘束の内容を理解しており、身体拘束は行わないという姿勢で、日々のケアを提供している。やむえず拘束を行わなければならない場合に備えての記録する様式を整備している。			

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄	日中は玄関に施錠せず、自由に出入りできるよう に工夫している。居室等、日常的に出入りする場 所は、施錠していない。自動ドアなどは、時間を		
	関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	決めオープンにしている。		
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	昼夜共に、職員は利用者を見守りやすい場所にいて利用者の様子を把握している。		
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	全てを取り除くようなことはなく、利用者の状況 変化によっては、改善を促していくなど、ケース に応じた対応をしている。		
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状況に応じて、想定される事故を職員間 で検討している。ひやりはっと報告書、事故報告 書の様式が整備されている。		
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全て の職員が応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行っている	定期的に行われていないが、緊急時対応マニュアルが作成されている。いつでも見ことが出来るようになっている。	0	実際の場面で活かせる技術を身につけていく必要性がある為、定期的に訓練は必要だと考えている。
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日ごろより地域の人々の協力を得られ るよう働きかけている	日中だけではなく、夜間を想定した避難訓練を、 施設と共に年2回消防の協力のもとで、利用者も 参加し行っている。災害に備えた食料等の備蓄品 を用意している。		

	OT.			
	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	○リスク対応に関する家族等との話し合い			
69	一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	利用者一人ひとりに起こり得るリスクを把握する とともに、その対応策をご家族等に説明してい る。		
(5)-	- その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	<u> </u>		
	○体調変化の早期発見と対応			
70	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	変化や異変の兆候があった場合には、記録に残す とともに全職員で共有し、必要に応じて医療機関 に相談するなどの対応を行っている。		
	○服薬支援	&47. 产しの3日蓮がより加い、トミラーヤジレーマンフ - 苺		
71		飲み忘れや誤薬等が無いように支援している。薬の変更時は、速やかに全職員に周知している。服薬による状態変化時は、記録に残すと共に、ご家族や医師に報告している。		
	○便秘の予防と対応			
72	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食材の工夫や運動を働きかけることで、自然な排 便が出来るよう取り組んでいる。		
	○口腔内の清潔保持			
73		毎食後の歯磨きや口腔ケアの声掛けを行い、能力 に応じて見守ったり、介助を行なっている。就寝 前には、義歯洗浄を行っている。		
	○栄養摂取や水分確保の支援			
74	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がメニューを作成しており、毎食と水分の 摂取量を記録し、状況により支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めが あり、実行している (インフルエンザ、疥 癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症の予防、早期発見、対応マニュアルが作成されている。感染症に関する情報を、利用者やご家族に周知している。職員は、インフルエンザ予防接種を受けている。ノロウイルス対策として、ペーパータオルを使用する等予防を徹底している。		
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場として の台所、調理用具等の衛生管理を行い、新 鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所や調理器具等の清潔を保持するための具体的 なマニュアルや手引書等を作成し、それに基づい て実行している。		
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親し みやすく、安心して出入りができるよう に、玄関や建物周囲の工夫をしている	訪問者や利用者の視点に立って、事業所に入りや すい雰囲気作りを行っている。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとっ て不快な音や光がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、居心地よく過ご せるような工夫をしている	調度品等、家庭的な雰囲気を保てるよう配慮している。職員がたてる物音や声は騒がしくなく、テレビ等の音は適切で、日差しや照明などの明るさは適切である。五感や季節を感じることが出来る工夫を行っている。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同 士で思い思いに過ごせるような居場所の工 夫をしている	園庭には椅子等を置き、日光浴ができるようにしている。利用者同士で、団欒が出来るように工夫している。		

			•	
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	○居心地よく過ごせる居室の配慮			
80	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前から使用していたり、愛用していた物、椅子、人形、家族の写真等、馴染みの物を持ってきてもらっている。		
	○換気・空調の配慮			
81	気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	臭いや空気のよどみがないよう、換気を定期的に 行っている。事業所内に、温・湿度計を設置し、 適宜に確認しながら、適切な管理を行っている。		
(2)	(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
	○身体機能を活かした安全な環境づくり			
82	建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	トイレ等の場所の表示や浴室、廊下などの手すり の工夫をしている。利用者の活動性を維持するために、必要に応じて車椅子を用意している。		
	○わかる力を活かした環境づくり	場所の間違いを防ぐためには、一人ひとりの状態		
83	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	を把握すると共に、目印の設置の必要性を見極め、個々に合わせた表示をつける等の取り組みを行っている。		
	○建物の活用	度に共ればられり、畑のコペーコを砂口! ゴロ		
84	建物を利用者が楽しんだり、活動できる ように活かしている	庭に花を植えたり、畑のスペースを確保し、利用者が日常的に楽しみながら活動できるような環境を作っている。園庭にはベンチを置いて、利用者が涼んだり日向ぼっこが出来る工夫をしている。		

(

部分は外部評価との共通評価項目です )

٧. <del>با</del>	V. サービスの成果に関する項目				
項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)			
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方 の意向を掴んでいる	<ul><li>○ ①ほぼ全ての利用者の</li><li>②利用者の2/3くらいの</li><li>③利用者の1/3くらいの</li><li>④ほとんど掴んでいない</li></ul>			
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ご す場面がある	<ul><li>○ ①毎日ある</li><li>②数日に1回程度ある</li><li>③たまにある</li><li>④ほとんどない</li></ul>			
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らし ている	<ul><li>○ ①ほぼ全ての利用者が</li><li>②利用者の2/3くらいが</li><li>③利用者の1/3くらいが</li><li>④ほとんどいない</li></ul>			
88	利用者は、職員が支援することで生き生 きした表情や姿がみられている	<ul><li>○ ①ほぼ全ての利用者が</li><li>②利用者の2/3くらいが</li><li>③利用者の1/3くらいが</li><li>④ほとんどいない</li></ul>			
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出か けている	<ul><li>①ほぼ全ての利用者が</li><li>○ ②利用者の2/3くらいが</li><li>③利用者の1/3くらいが</li><li>④ほとんどいない</li></ul>			
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で 不安なく過ごせている	<ul><li>○ ①ほぼ全ての利用者が</li><li>②利用者の2/3くらいが</li><li>③利用者の1/3くらいが</li><li>④ほとんどいない</li></ul>			
91	利用者は、その時々の状況や要望に応じ た柔軟な支援により、安心して暮らせて いる	<ul><li>○ ①ほぼ全ての利用者が</li><li>②利用者の2/3くらいが</li><li>③利用者の1/3くらいが</li><li>④ほとんどいない</li></ul>			
92	職員は、家族が困っていること、不安な こと、求めていることをよく聴いてお り、信頼関係ができている	<ul><li>○ ①ほぼ全ての家族と</li><li>②家族の2/3くらいと</li><li>③家族の1/3くらいと</li><li>④ほとんどできていない</li></ul>			
93	通いの場やグループホームに馴染みの人 や地域の人々が訪ねて来ている	<ul><li>①ほぼ毎日のように</li><li>○ ②数日に1回程度</li><li>③たまに</li><li>④ほとんどない</li></ul>			

項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る	<ul><li>○ ①大いに増えている</li><li>②少しずつ増えている</li><li>③あまり増えていない</li><li>④全くいない</li></ul>
95	職員は、活き活きと働けている	<ul><li>○ ①ほぼ全ての職員が</li><li>②職員の2/3くらいが</li><li>③職員の1/3くらいが</li><li>④ほとんどいない</li></ul>
96	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う	<ul><li>○ ①ほぼ全ての利用者が</li><li>②利用者の2/3くらいが</li><li>③利用者の1/3くらいが</li><li>④ほとんどいない</li></ul>
97	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う	<ul><li>○ ①ほぼ全ての家族等が</li><li>②家族等の2/3くらいが</li><li>③家族等の1/3くらいが</li><li>④ほとんどできていない</li></ul>

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

園庭には、毎年野菜や花を植えており、それを収穫しホームの食事に出したり、花もテーブルに飾るなど季節感もあり、温かみのある雰囲気がある。地域との交流を図ることに努めており、地区の文化祭への作品を出品し見学に行ったり、保育園を訪問したり、近所の商店へ買い物に出掛けたり、地元のまつりにも参加したりホーム外の人々とのふれあいも大切にしている。ホーム独自でも年間行事予定を組み行事を行っているその時は、地域のボランティアの方々の協力を得ている。併設である、老健施設で行っている誕生会、喫茶会、茶道、語りべ、カラオケなどの行事にも、希望者の方が参加され楽しまれている。併設には、医療機関もあり、医療面での充実したケアを提供できる体制となっている。